



UT520



UT550



UT551



UT52A



UT55A

## 目次

1. はじめに.....	2
2. パラメータ .....	4
2.1 運転パラメータ .....	4
2.2 セットアップパラメータ.....	11
2.3 機能.....	30

# 1. はじめに

本書は、GREENシリーズデジタル指示調節計UT551、UT550、UT520から、UTAdvancedシリーズデジタル指示調節計UT55A、UT52Aにリプレースするときにお客様に仕様の違いを理解していただくための仕様比較をパラメータごとにまとめた資料です。

殆どのパラメータにてリプレースが可能ですが、機能向上のため変更したパラメータもありますので、本書で仕様の確認をしていただき、安心してリプレースを行っていただけますようお願いいたします。

なお、特注仕様に関しては本書では扱っておりませんので、当社営業部までお問い合わせください。

## 対象製品

このドキュメントは、下記の製品を対象としています。

	GREEN シリーズ	UTAdvanced
デジタル指示調節計	UT551/UT550/UT520	UT55A/UT52A

## 商 標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Modbusは、米国SchneiderAutomationInc.の登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中の各社の登録商標または商標には、TM、®マークは表示していません。

意図して空白にしています。

## 2. パラメータ

### 2.1 運転パラメータ

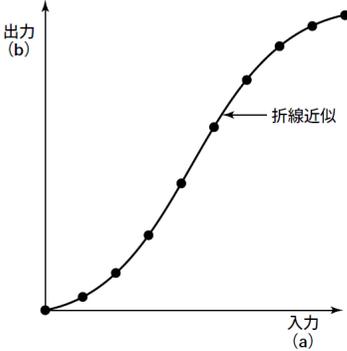
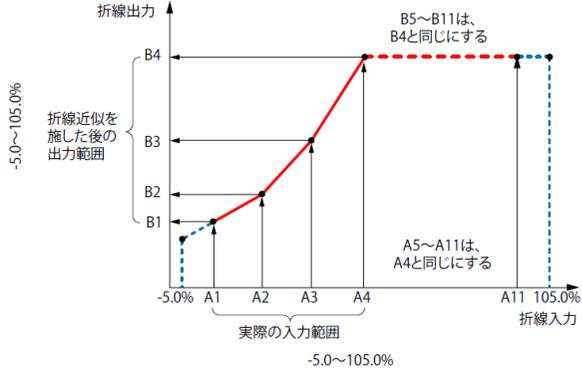
No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)				
		記 号	内 容	記 号	内 容			
(1)	AT (実行時の出力リミット)	なし	機能なし	AT.OH、 AT.OL	オートチューニング用の出力リミット			
					記号	名称	設定範囲と解説	初期値
					AT.OH	オートチューニング時出力リミット上限値	-5.0 ~ 105.0% (加熱冷却制御時は無効)	100.0%
				AT.OL	オートチューニング時出力リミット下限値		0.0%	
(2)	AT (通常 / 安定の選択)	なし	機能なし	AT.TY	オートチューニング用タイプ			
					記号	名称	設定範囲と解説	初期値
				AT.TY	オートチューニングタイプ	0 : 通常 1 : 安定	0	
(3)	AT 時の実行 SP 値へのバイアス	なし	機能なし	AT.BS	記号	名称	設定範囲と解説	初期値
					AT.BS	オートチューニング時目標設定値バイアス	PV 入力レンジスパンの -100.0 ~ 100.0%	PV 入力レンジスパンの 0.0%
(4)	AT (一括チューニング)	AT	一括 AT 実行機能あり				AT	なし、個別の AT 実行のみ可能 (1 ~ 8、R)
			記号	名称	設定範囲と解説	初期値		
			AT	オートチューニング	OFF (0) : オートチューニング中止 1 : 1.SP に対するオートチューニング 2 : 2.SP に対するオートチューニング 3 : 3.SP に対するオートチューニング 4 : 4.SP に対するオートチューニング 5 ~ 8 : 1 ~ 4 と同様にグループ別に実行 9 : 1 ~ 8 グループすべてに対して自動的に実行	OFF (0)		

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)						
		記号	内容			記号	内容					
(5)	スーパー機能	SC	オーバーシュート抑制機能 1 種類 ハンチング抑制機能 2 種類				SC	オーバーシュート抑制機能 2 種類 ハンチング抑制機能 2 種類 オーバーシュート抑制機能を新たに追加。(強抑制モード)				
			記号	名称	設定範囲	初期値		記号	名称	設定範囲	初期値	
			SC	スーパー機能	0: 機能なし 1: 「オーバーシュート」制御機能 外乱などによるオーバーシュートを制御します。 2: 「ハンチング」制御機能(安定性重視モード) 安定性が優れています。応答性重視モードに比べて、広い特性変化に対応します。 3: 「ハンチング」制御機能(応答性重視モード)変更した目標設定値に対する測定値の追従/収束時間が早いモードです。 注意: 「SC=2 と 3」は、必ず PID 制御、PI 制御で使用してください。 以下の場合には機能しません。 1) オンオフ制御 2) P 制御 (比例帯のみの制御) 3) PD 制御 (比例帯と微分項のみの制御) 4) 加熱冷却制御 応答の早い制御 (流量、圧力) では使用しないでください。	OFF			SC	スーパー機能	0: 機能なし 1: オーバーシュート抑制機能 (通常モード) 2: ハンチング抑制機能 (安定性重視モード) 応答性重視モードに比べて、広い特性変化に対応します。 3: ハンチング抑制機能 (応答性重視モード) 変更した SP に対する PV の追従/収束時間が早いモードです。 4: オーバーシュート抑制機能 (強抑制モード)	OFF
(6)	センサ接地警報	AL	あり。 センサ接地警報を使用しなくても関連パラメータが表示されます。ON/OFF 制御のパラメータではありません。				なし	機能なし				
			記号	名称	設定範囲	初期値						
			ORB	オン/オフ率検出幅	測定入力レンジスパンの 0.0 ~ 100.0%	測定入力レンジスパンの 1.0%						
			ORH	オン/オフ率上限	ORL+1digit ~ 105.0%	100.0%						
			ORL	オン/オフ率下限	-5.0% ~ ORH-1digit	0.0%						
OR	オン/オフ率	設定値ではありません	制御出力の移動平均値 (5 サイクルタイム分) を表示します。									

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)			UTAdvanced (UT55A/UT52A)																		
		記 号	内 容		記 号	内 容																	
(7)	リファレンス偏差	8.PID	<p>目標設定値との偏差により PID を選択するとき使用します。偏差を外れたとき、PID 組数 (GRP) で設定した番号の PID 組を使用します。</p> <p>下図の例は、リファレンスポイントを設定しないで、リファレンス偏差のみを設定したものです。選択する PID 組は、次の通りです。</p> <p>(1) の領域は、偏差範囲内ですので、1 組目の PID パラメータが使用されます。</p> <p>(2) の領域は、偏差範囲外ですので、PID 組数 (GRP) で設定した番号の PID パラメータが使用されます。</p>		R.PID	<p>リファレンス偏差用の PIDGr. があります。グループ番号 R の PID です。</p> <p>偏差の大きさに応じて、PID パラメータのグループを切り替える機能です。</p> <p>この機能を「リファレンス偏差」と呼びます。</p> <p>定値制御中、偏差がリファレンス偏差設定値より大きくなると、決められた PID パラメータグループ (グループ R の PID) に自動的に切り替わります。偏差がリファレンス偏差より小さくなるとゾーンに応じた PID パラメータに切り替わります。</p>																	
(8)	比例帯の設定範囲	P	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P</td> <td>比例帯</td> <td>0.1 ~ 999.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)</td> <td>加熱冷却制御時: 0.0 ~ 999.9% (0.0 で加熱側オン/オフ制御となる)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	P	比例帯	0.1 ~ 999.9%		加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)	加熱冷却制御時: 0.0 ~ 999.9% (0.0 で加熱側オン/オフ制御となる)	P	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P</td> <td>比例帯</td> <td>0.0 ~ 999.9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)</td> <td>0.0% と設定すると、0.1% とし動作します。加熱冷却制御時、0.0% にすると加熱側オン/オフ制御</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	P	比例帯	0.0 ~ 999.9%		加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)	0.0% と設定すると、0.1% とし動作します。加熱冷却制御時、0.0% にすると加熱側オン/オフ制御
記号	名称	設定範囲																					
P	比例帯	0.1 ~ 999.9%																					
	加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)	加熱冷却制御時: 0.0 ~ 999.9% (0.0 で加熱側オン/オフ制御となる)																					
記号	名称	設定範囲																					
P	比例帯	0.0 ~ 999.9%																					
	加熱側比例帯 (加熱冷却制御時)	0.0% と設定すると、0.1% とし動作します。加熱冷却制御時、0.0% にすると加熱側オン/オフ制御																					
(9)	警報設定値の初期化	A1、A2、A3、A4	警報種類を変更すると、値は初期化されます		A1 ~ A8	警報種類を変更しても、値は初期化されません																	
(10)	偏差警報の設定	A1、A2、A3、A4	符号の必要なし		A1 ~ A8	下限偏差警報の場合はマイナスが必要です。																	

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)					
		記号	内容			記号	内容				
(11)	警報設定値とヒステリシスの初期値	A1 ~ A4、HY1 ~ HY4	警報設定値は警報種類により変化、ヒステリシスはレンジの0.5%				A1 ~ A8 HY1 ~ HY8	警報種類に関係なく警報設定値の初期値が0、ヒステリシスが10となっており、すぐに警報が出てしまう場合があります。			
			記号	警報種類	設定範囲と解説	初期値		記号	名称	設定範囲と解説	初期値
			1.A1	警報 1 設定値	目標設定値 1(1.SP) に対し、警報 1(1.A1) ~ 警報 4(1.A4) を設定できます。	測定値上限 / 設定値		A1 ~ A8	警報 1 ~ 8 設定値	PV 警報、SP 警報、偏差警報、出力値警報、変化率警報の設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000 (入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。	0
			1.A2	警報 2 設定値	目標設定値 2 から 8 に対しても、それぞれ警報を 4 つ設定できます。測定値警報 / 設定値警報：測定入力レンジの -100.0 ~ 100.0%	測定値上限警報：測定入力レンジの 100.0%					
			1.A3	警報 3 設定値	偏差警報：測定入力レンジスパンの -100.0 ~ 100.0%	その他測定値 / 設定値下限警報：測定入力レンジの 0.0%		偏差警報：測定入力レンジスパンの 0.0%			
1.A4	警報 4 設定値	出力値警報：-5.0 ~ 105.0% タイム警報 (警報 1 のみ): 0.00 ~ 99.59(時.分) または (分.秒)	出力値上限警報：100.0% 出力値下限警報：0.0%	出力値警報：0.5%							
			HY1	警報 1 ヒステリシス	警報設定点に動作すきまを設定できます。ヒステリシスを設定することによりリレーのチャタリングを防止できます。	測定入力レンジスパンの 0.5%	HY1 ~ HY8	警報 1 ~ 8 ヒステリシス	ヒステリシスの設定値を表示値で設定します。 -19999 ~ 30000 (入力レンジ範囲内で設定してください) 小数点位置は、入力種類によります。入力種類が小数点以下 1 桁の場合、ヒステリシスの初期値は 1.0 となります	10	
			HY2	警報 2 ヒステリシス	測定値上限警報の場合のヒステリシス	出力値警報：0.5%					
			HY3	警報 3 ヒステリシス	測定値上限警報の場合のヒステリシス						
			HY4	警報 4 ヒステリシス	測定値上限警報の場合のヒステリシス						
			<p>測定値</p> <p>測定入力レンジスパンの 0.0 ~ 100.0%</p> <p>出力値警報時：0.0 ~ 100.0%</p>								
(12)	警報設定値	A1、A2、A3、A4	警報種類による設定値 ・測定値警報 / 設定値警報：測定入力レンジの -100.0 ~ 100.0% ・偏差警報：測定入力レンジスパンの -100.0 ~ 100.0% ・出力値警報：-5.0 ~ 105.0%			A1 ~ A8	-19999 ~ 30000 小数点位置は、測定入力レンジに合わせます。				
(13)	警報 OFF ディレイタイム機能	なし	機能なし			DYF1 ~ DYF8	警報 (オフ) ディレイタイム時間を追加。				
(14)	出力リミッタ	OH、OL	OL < OH で設定			OH、OL	OL ≥ OH の設定可能 設定した場合は、内部で OL = OH-1digit として扱います。				

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)					
		記号	内容			記号	内容				
(15)	加熱 / 冷却出力の出力リミッタ	OH、OL	加熱冷却制御時、OHが加熱側の上限リミッタ、OLが冷却側の上限リミッタとなります。				OH、OL、OHc、OLc	加熱冷却制御時、加熱側・冷却側共に上限と下限のリミッタがあります。			
			記号	名称	設定範囲	初期値		記号	名称	設定範囲	初期値
			OH	出力リミット上限値 加熱側出力リミット上限値 (加熱冷却制御時)	-5.0 ~ 105.0% 加熱冷却制御時加熱側リミッタ：0.0 ~ 105.0% (OL<OH)	100.0% 加熱冷却制御：100.0%		OH	制御出力リミット上限値 加熱側制御出力リミット上限値 (加熱冷却制御時)	-4.9 ~ 105.0%、(OL < OH) 加熱冷却制御時：0.1 ~ 105.0% (OL < OH)	100.0%
			OL	出力リミット下限値 冷却側出力リミット上限値 (加熱冷却制御時)	-5.0 ~ 105.0% 加熱冷却制御時冷却側リミッタ：0.0 ~ 105.0% (OL<OH)	0.0% 加熱冷却制御：100.0%		OL	制御出力リミット下限値 加熱側制御出力リミット下限値 (加熱冷却制御時)	-5.0 ~ 104.9%、(OL < OH)、SD：タイトシャット 加熱冷却制御時、0.0 ~ 104.9% (OL < OH)	0.0%
						OHc	冷却側制御出力リミット上限値	0.1 ~ 105.0%、(OLc < OHc)	100.0%		
						OLc	冷却側制御出力リミット下限値	0.0 ~ 104.9%、(OLc < OHc)	0.0%		
(16)	手動操作時の出力リミッタ機能	なし	機能なし			OLMT	手動操作時に出力リミッタを解除できます。				
						OLMT	出力リミッタスイッチ	OFF：手動運転時出力リミッタ無効 ON：手動運転時出力リミッタ有効	ON		
(17)	折線	PYS1 PYS2	テーブル数：2点（測定入力（PV1/2）に対してのみあり：固定）			PYS1 ~ PYS4	記号	名称	設定範囲	初期値	
						PYS	折線選択	OFF：使用しない PV：PV アナログ入力 RSP：RSP アナログ入力 AIN2：AIN2 アナログ入力 AIN4：AIN4 アナログ入力 PVIN：PV 入力 OUT：OUT アナログ出力 OUT2：OUT2 アナログ出力 RET：RET アナログ出力	PV (制御モード：SGL)		

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)																		
		記号	内容			記号	内容																	
(18)	折線	PYS1 PYS2	<p>0、100%でリミットされます。 この機能は、球形タンクの液位と容積のように、入力信号値と測定したい値の関係がリニアでない場合などに使用します。 折線近似機能では、下図のように任意の11点の入力値に対して、それぞれ出力値を任意の値に設定できます。 折線にする為の入力値(a)は、運転パラメータの“1.a1”～“1.a11”<sup>(注1)</sup>で設定します。 各入力値(a)に対する折線近似のための補正值(b軸方向)は、“1.b1”～“1.b11”<sup>(注1)</sup>で設定します。</p> <p>(注1) ・UT550, UT551 および UT520 では “1.A1”～“1.AB” および “1.B1”～“1.BB” が当該パラメータです。 ・UT モードで、第2ループ/2次側ループ使用の場合は、“2.a1”～“2.a11”, “2.b1”～“2.b11”, “2.A1”～“2.AB” および “2.B1”～“2.BB” も当該パラメータです。</p>						PYS1～ PYS4	<p>0、100%範囲外は直前の折れ線の延長となります。 この機能は、球形タンクの液位と容積のように、入力信号と測定したい値の関係がリニアでない場合などに使用します。折線近似では、下図のように任意の11点の入力値に対して、それぞれ出力値を任意の値に設定します。 折線入力値がA1以下の場合、B1～B2間の延長線を出します。また折線入力値がA11以上の場合、B10～B11間の延長線を出します。</p>														
(19)	入力選択制御の選択モード	U1	<p>選択モード4種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>U1</td> <td>ユーザパラメータ1</td> <td>0: 測定入力1と測定入力2の最大値を使用する 1: 測定入力1と測定入力2の最小値 2: 測定入力1と測定入力2の平均値 3: 測定入力2-測定入力1の値を使用する</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	U1	ユーザパラメータ1	0: 測定入力1と測定入力2の最大値を使用する 1: 測定入力1と測定入力2の最小値 2: 測定入力1と測定入力2の平均値 3: 測定入力2-測定入力1の値を使用する	2	<p>選択モード5種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PV.AS</td> <td>入力演算選択</td> <td>0: 最大値 1: 最小値 2: 平均値 3: 入力差 (入力1-入力2) 4: 入力差 (入力2-入力1)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	PV.AS	入力演算選択	0: 最大値 1: 最小値 2: 平均値 3: 入力差 (入力1-入力2) 4: 入力差 (入力2-入力1)	0
記号	名称	設定範囲	初期値																					
U1	ユーザパラメータ1	0: 測定入力1と測定入力2の最大値を使用する 1: 測定入力1と測定入力2の最小値 2: 測定入力1と測定入力2の平均値 3: 測定入力2-測定入力1の値を使用する	2																					
記号	名称	設定範囲	初期値																					
PV.AS	入力演算選択	0: 最大値 1: 最小値 2: 平均値 3: 入力差 (入力1-入力2) 4: 入力差 (入力2-入力1)	0																					

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)					
		記 号	内 容			記 号	内 容				
(20)	入力選択制御の入力数	なし	アナログ入力 2点から選択 (最大値 / 最小値 / 平均 / 温度差)			PV.NU	アナログ入力 最大4点から選択(最大値 / 最小値 / 平均 / 温度差)				
							記号	名称	設定範囲	初期値	
						PV.NU	入力数	2: 入力1と入力2を使う 3: 入力1と入力2と入力3を使う 4: 4入力すべて使う	2		
(21)	2入力切替	U3	選択モード3種類				PV.2C	選択モード4種類			
			記号	名称	設定範囲	初期値		記号	名称	設定範囲	初期値
			U3	ユーザーパラメータ3 (入力切替動作)	0: U2 ~ U1の温度範囲で切替える 1: U1の入力切替温度上限値で切替える 2: 接点入力 8(DI8)で切替える	0	PV.2C	入力切替動作	0: 低温基準の温度範囲で切り替える 1: PV.HLで切り替える 2: DIで切り替える 3: 高温基準の温度範囲で切り替える	0	
(22)	2入力切替の切替範囲設定	U1、U2	選択モード3種類				PV.HL、PV.LL	選択モード4種類			
			記号	名称	設定範囲	初期値		記号	名称	設定範囲	初期値
			U1	ユーザーパラメータ1 (入力切替温度上限値)	パラメータ U3=0 または 1 のとき設定します。 PVレンジの 0.0 ~ 100.0%	PVレンジの 0.0%	PV.HL	入力切替 PV 上限値	制御 PV 入力レンジの 0.0 ~ 100.0% (工業量) (PV.HL > PV.LL)	制御 PV 入力レンジの 100.0%	
			U2	ユーザーパラメータ2 (入力切替温度下限値)	パラメータ U3=0 のとき設定します。 PVレンジの 0.0 ~ 100.0%	PVレンジの 0.0%	PV.LL	入力切替 PV 下限値		制御 PV 入力レンジの 0.0%	
(23)	非線形 PID 制御	なし	機能なし			GW、GG	機能あり				
							記号	名称	設定範囲	初期値	
						GW	非線形制御不感帯幅	OFF、PV入力レンジスパンの 0.0%+1digit ~ 50.0% (工業量)	OFF		
						GG	非線形制御ゲイン	0.001 ~ 1.000	1.000		

## 2.2 セットアップパラメータ

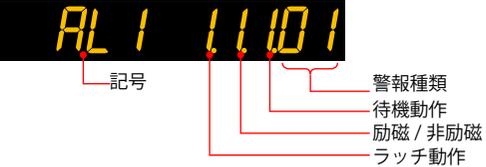
No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																	
		記号	内容	記号	内容																
(1)	入力種類	IN	電流入力 (mA) なし	IN	電流入力 (mA) あり 4-20mA、0-20mA を選択可能																
(2)	4 線式 RTD 入力	IN3	機能なし	RTD.S	機能あり (/DR 付加時) <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GW</td> <td>RTD 線式</td> <td>3-W : 3 線式、4-W : 4 線式</td> <td>3-W</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	GW	RTD 線式	3-W : 3 線式、4-W : 4 線式	3-W								
記号	名称	設定範囲	初期値																		
GW	RTD 線式	3-W : 3 線式、4-W : 4 線式	3-W																		
(3)	アナログ入力点数	IN1、IN3	Max2 点	IN、RSP、AIN2、AIN4	Max4 点 (UT55A のみ)																
(4)	華氏設定	UN1、UN3	設定可能。(ただし、日本語取説に記載はありません。)	UNIT	設定不可																
(5)	測定入力スケール (SH/SL) の設定範囲	SH1、SL1、SH3、SL3	$ SH - SL  \leq 30000$ でリミットされます。	IN、RSP、AIN2、AIN4	$ SH - SL  \geq 30000$ の設定が可能です。																
(6)	外部基準接点補償 (ERJC) の設定範囲	ERJ	-50.0 ~ 50.0°C (UT551 のみ)	ERJC	-10.0 ~ 60.0°C																
(7)	PV レンジの変更	P.D1、P.H1、P.L1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P.D1</td> <td>PV 小数点位置</td> <td>通常は、測定入力 1 小数点位置 (DP1) と同じにします。 温度入力で小数点の表示位置を移動させたい場合、PV 小数点位置 (P.D1) を使用します。 例えば、小数点 1 桁の温度表示を小数点なしの温度表示にしたい場合、“P.D1=0” とします。 0 ~ 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>P.H1</td> <td>PV レンジ最大値</td> <td>2 入力の温度範囲を設定します。 -19999 ~ 30000 P.L1 &lt; P.H1、但し P.H1 - P.L1 ≤ 30000</td> <td>測定入力 1 レンジ最大値、または測定入力 1 スケール最大値</td> </tr> <tr> <td>P.L1</td> <td>PV レンジ最小値</td> <td></td> <td>測定入力 1 レンジ最小値、または測定入力 1 スケール最小値</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	P.D1	PV 小数点位置	通常は、測定入力 1 小数点位置 (DP1) と同じにします。 温度入力で小数点の表示位置を移動させたい場合、PV 小数点位置 (P.D1) を使用します。 例えば、小数点 1 桁の温度表示を小数点なしの温度表示にしたい場合、“P.D1=0” とします。 0 ~ 4	—	P.H1	PV レンジ最大値	2 入力の温度範囲を設定します。 -19999 ~ 30000 P.L1 < P.H1、但し P.H1 - P.L1 ≤ 30000	測定入力 1 レンジ最大値、または測定入力 1 スケール最大値	P.L1	PV レンジ最小値		測定入力 1 レンジ最小値、または測定入力 1 スケール最小値	P.DP、P.RH、P.RL	<p>P.DP を変更した際は、P.RH、P.RL も RH、RL と同じ温度範囲になるように変更してください。</p> <p>【補足】RH、RL と P.RH、P.RL について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温度入力レンジ RH、RL は温度センサにより小数点位置および範囲が決まっています。範囲は狭める方向に変更できます。入力オーバーレンジの判定やバーンアウト時の動作に影響します。UTAdvanced の入力ラダー演算機能の前に処理されます。</li> <li>制御 PV 入力レンジ P.RH、P.RL は UTAdvanced の入力ラダー演算後、制御演算で使用するレンジを指定するためのパラメータです。表示後、制御 PV 入力の分解能および制御出力の比例成分に影響します。小数点位置と範囲を変更できます。入力種類が温度入力の場合、RH、RL と同じ範囲に指定してください。</li> </ul>
記号	名称	設定範囲	初期値																		
P.D1	PV 小数点位置	通常は、測定入力 1 小数点位置 (DP1) と同じにします。 温度入力で小数点の表示位置を移動させたい場合、PV 小数点位置 (P.D1) を使用します。 例えば、小数点 1 桁の温度表示を小数点なしの温度表示にしたい場合、“P.D1=0” とします。 0 ~ 4	—																		
P.H1	PV レンジ最大値	2 入力の温度範囲を設定します。 -19999 ~ 30000 P.L1 < P.H1、但し P.H1 - P.L1 ≤ 30000	測定入力 1 レンジ最大値、または測定入力 1 スケール最大値																		
P.L1	PV レンジ最小値		測定入力 1 レンジ最小値、または測定入力 1 スケール最小値																		



No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)			UTAdvanced (UT55A/UT52A)																																						
		記号	内容		記号	内容																																					
(9)	制御出力種類の選択方法	OT1	OT1	制御出力種類	OT	出力種類選択	<p>4桁のコード組み合わせにより出力種類端子を選択します。制御タイプは別のパラメータ (CNT) で選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">制御出力または加熱側制御出力 (下2桁)</td> <td>00</td> <td>OFF</td> <td rowspan="2">一般形： 00.03</td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>OUT 端子 (電圧/パルス)</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>OUT 端子 (電流)</td> <td rowspan="4">加熱冷却形： 06.03</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>OUT 端子 (リレー/トライアック)</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>OUT2 端子 (電圧/パルス)</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>OUT2 端子 (電流)</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>OUT2 端子 (リレー/トライアック)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">冷却側制御出力 (上2桁)</td> <td>00</td> <td>OFF</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>01</td> <td>OUT 端子 (電圧/パルス)</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>OUT 端子 (電流)</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>OUT 端子 (リレー/トライアック)</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>OUT2 端子 (電圧/パルス)</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>OUT2 端子 (電流)</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>OUT2 端子 (リレー/トライアック)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲	初期値	制御出力または加熱側制御出力 (下2桁)	00	OFF	一般形： 00.03	01	OUT 端子 (電圧/パルス)	02	OUT 端子 (電流)	加熱冷却形： 06.03	03	OUT 端子 (リレー/トライアック)	04	OUT2 端子 (電圧/パルス)	05	OUT2 端子 (電流)	06	OUT2 端子 (リレー/トライアック)	冷却側制御出力 (上2桁)	00	OFF		01	OUT 端子 (電圧/パルス)	02	OUT 端子 (電流)	03	OUT 端子 (リレー/トライアック)	04	OUT2 端子 (電圧/パルス)	05	OUT2 端子 (電流)	06	OUT2 端子 (リレー/トライアック)
名称	設定範囲	初期値																																									
制御出力または加熱側制御出力 (下2桁)	00	OFF	一般形： 00.03																																								
	01	OUT 端子 (電圧/パルス)																																									
	02	OUT 端子 (電流)	加熱冷却形： 06.03																																								
	03	OUT 端子 (リレー/トライアック)																																									
	04	OUT2 端子 (電圧/パルス)																																									
	05	OUT2 端子 (電流)																																									
06	OUT2 端子 (リレー/トライアック)																																										
冷却側制御出力 (上2桁)	00	OFF																																									
	01	OUT 端子 (電圧/パルス)																																									
	02	OUT 端子 (電流)																																									
	03	OUT 端子 (リレー/トライアック)																																									
	04	OUT2 端子 (電圧/パルス)																																									
	05	OUT2 端子 (電流)																																									
06	OUT2 端子 (リレー/トライアック)																																										
(10)	CT (サイクルタイム) の設定時間	CT、CTc	設定範囲：1 秒～1000 秒	CT、CTc	設定範囲：0.5～1000.0 秒																																						

記号	名称	設定範囲	初期値
0	時間比例 PID リレー接点出力 (端子①-②-③)		0
1	時間比例 PID 電圧/パルス出力 (端子⑩-⑰)		
2	電流出力 (端子⑩-⑰)		
3	オンオフ制御リレー接点出力 (端子①-②-③)		
設定値 4-12 は、加熱冷却形の調節計のみ設定できます。			
4	加熱側リレー出力 (端子①-②-③)・冷却側リレー出力 (端子④⑧-④⑨-⑤⑩)		4
5	加熱側パルス出力 (端子⑩-⑰)・冷却側リレー出力 (端子④⑧-④⑨-⑤⑩)		
6	加熱側電流出力 (端子⑩-⑰)・冷却側リレー出力 (端子④⑧-④⑨-⑤⑩)		
7	加熱側リレー出力 (端子①-②-③)・冷却側パルス出力 (端子④⑥-④⑦)		
8	加熱側パルス出力 (端子⑩-⑰)・冷却側パルス出力 (端子④⑥-④⑦)		
9	加熱側電流出力 (端子⑩-⑰)・冷却側パルス出力 (端子④⑥-④⑦)		
10	加熱側リレー出力 (端子①-②-③)・冷却側電流出力 (端子 46 - 47)		
11	加熱側パルス出力 (端子⑩-⑰)・冷却側電流出力 (端子 ④⑥-④⑦)		
12	加熱側電流出力 (端子⑩-⑰)・冷却側電流出力 (端子④⑥-④⑦)		

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)					
		記号	内容			記号	内容				
(11)	スプリット演算機能の設定範囲	A1H、 A1L A2H、 A2L A3H、 A3L	設定範囲：-5.0～105.0% (UT550/520のみ)				OU.H、 OU.L OU2.H、 OU2.L RET.H、 RET.L	設定範囲：-100.0～200.0%			
			記号	名称	設定範囲	初期値		記号	名称	設定範囲	初期値
			A1H	アナログ出力1用の100%出力折点の設定	-5.0～105.0 (%) UT551の場合は、 -100.0～200.0 (%)	100(%)		OU.H	OUT 電流出力 100% 折れ点	-100.0～200.0%	100(%)
			A1L	アナログ出力1用の0%出力折点の設定		0(%)		OU.L	OUT 電流出力 0% 折れ点		0(%)
			A2H	アナログ出力2用の100%出力折点の設定		100(%)		OU2.H	OUT2 電流出力 100% 折れ点		100(%)
			A2L	アナログ出力2用の0%出力折点の設定		0(%)		OU2.L	OUT2 電流出力 0% 折れ点		0(%)
			A3H	アナログ出力3用の100%出力折点の設定		100(%)		RET.H	RET 電流出力 100% 折れ点		100(%)
A3L	アナログ出力3用の0%出力折点の設定	0(%)	RET.L	RET 電流出力 0% 折れ点		0(%)					
(12)	位置比例制御時のフィードバック入力	なし	抵抗 (100～2.5k Ω) のみ (UT550/UT551のみ)			なし	抵抗 (100～2.5k Ω) ・電流 (4-20mADC)。配線で対応します。				
(13)	PV 表示色切替機能	PCM	1 (赤色固定モード) 初期値 DI 連動モードなし。(表示色切替は UT551 のみ)			PCMD	0 (白色固定モード) 初期値 設定範囲に DI 連動モード追加。				
			設定範囲	内容			設定範囲	内容			
			0	緑色固定モード			0	白色固定モード			
			1	赤色固定モード			1	赤色固定モード			
			2	警報1連動モード (警報発生なし：緑色、警報発生：赤色)			2	警報1連動モード (警報発生なし：白色、警報発生：赤色)			
			3	警報1連動モード (警報発生なし：赤色、警報発生：緑色)			3	警報1連動モード (警報発生なし：赤色、警報発生：白色)			
			4	警報1または警報2連動モード (警報発生なし：緑色、警報発生：赤色)			4	警報1または警報2連動モード (警報発生なし：白色、警報発生：赤色)			
			5	警報1または警報2連動モード (警報発生なし：赤色、警報発生：緑色)			5	警報1または警報2連動モード (警報発生なし：赤色、警報発生：白色)			
			6	測定値連動モード (範囲内：緑色、範囲外：赤色)			6	PV 連動モード (範囲内：白色、範囲外：赤色)			
			7	測定値連動モード (範囲内：赤色、範囲外：緑色)			7	PV 連動モード (範囲内：赤色、範囲外：白色)			
			8	SP 偏差連動モード (偏差内：緑色、偏差外：赤色)			8	偏差連動モード (偏差内：白色、偏差外：赤色)			
9	SP 偏差連動モード (偏差内：赤色、偏差外：緑色)		9	偏差連動モード (偏差内：赤色、偏差外：白色)							
	SP 偏差連動モード (偏差内：赤色、偏差外：緑色)		10	DI 連動モード (オン：赤色、オフ：白色)							

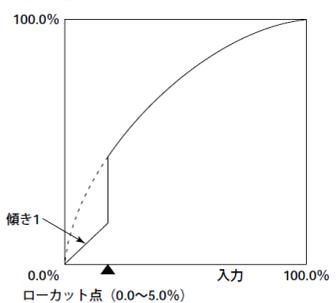
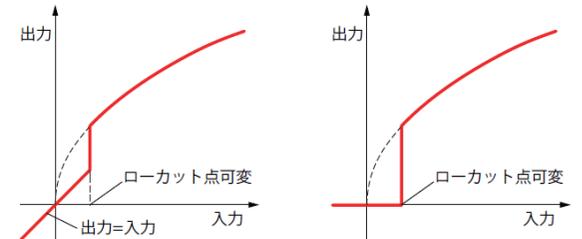
No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)																																																																			
		記号	内容			記号	内容																																																																		
(14)	警報種類の指定方法	AL1、AL2、AL3、AL4	励磁・非励磁と待機付動作の設定は用意された警報種類番号を指定				AL1～AL8	<p>下図は、PV上限警報 (01)、待機動作有 (1)、非励磁 (1)、ラッチ1動作有 (1) を設定した例です。</p> 																																																																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>警報の種類</th> <th>警報動作</th> <th>警報の種類コード</th> <th>警報の種類</th> <th>警報動作</th> <th>警報の種類コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警報なし</td> <td>開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す</td> <td>OFF</td> <td>偏差下限非励磁</td> <td>開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>測定値上限</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点</td> <td>1 11</td> <td>偏差上下限非励磁</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>測定値下限</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値</td> <td>2 12</td> <td>偏差上下限励磁</td> <td>ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値</td> <td>7 17</td> </tr> <tr> <td>偏差上限</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値</td> <td>3 13</td> <td>上下限内偏差非励磁</td> <td>ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値</td> <td>8 18</td> </tr> <tr> <td>偏差下限</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値</td> <td>4 14</td> <td>測定値上限非励磁</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点</td> <td>9 19</td> </tr> <tr> <td>偏差上限非励磁</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値</td> <td>5 15</td> <td>測定値下限非励磁</td> <td>ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値</td> <td>10 20</td> </tr> </tbody> </table>	警報の種類	警報動作	警報の種類コード		警報の種類	警報動作	警報の種類コード	警報なし	開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す	OFF	偏差下限非励磁	開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す	6	測定値上限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点	1 11	偏差上下限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値	16	測定値下限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値	2 12	偏差上下限励磁	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値	7 17	偏差上限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値	3 13	上下限内偏差非励磁	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値	8 18	偏差下限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値	4 14	測定値上限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点	9 19	偏差上限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値	5 15	測定値下限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値	10 20	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ラッチ動作 (注1)</th> <th>励磁(0)/非励磁(1)</th> <th>待機動作 無(0)/有(1)</th> <th>警報種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未設定</td> <td>— (注2)</td> <td>— (注2)</td> <td>— (注2)</td> <td>00</td> </tr> <tr> <td>PV上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>PV下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>02</td> </tr> <tr> <td>SP上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>03</td> </tr> <tr> <td>SP下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>04</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 0:ラッチ動作なし、1:ラッチ1、2:ラッチ2、3:ラッチ3、4:ラッチ4 (注2) —:設定しても動作しません。</p>	名称	ラッチ動作 (注1)	励磁(0)/非励磁(1)	待機動作 無(0)/有(1)	警報種類	未設定	— (注2)	— (注2)	— (注2)	00	PV上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	01	PV下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	02	SP上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	03	SP下限警報
警報の種類	警報動作	警報の種類コード	警報の種類	警報動作	警報の種類コード																																																																				
警報なし	開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す	OFF	偏差下限非励磁	開閉はリレー接点の状態を、(点)はランプの状態を示す	6																																																																				
測定値上限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点	1 11	偏差上下限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値	16																																																																				
測定値下限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値	2 12	偏差上下限励磁	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値	7 17																																																																				
偏差上限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値	3 13	上下限内偏差非励磁	ヒステリシス ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 閉(点) 偏差設定値 測定値	8 18																																																																				
偏差下限	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 偏差設定値 測定値	4 14	測定値上限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 警報設定点	9 19																																																																				
偏差上限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 測定値 目標設定値	5 15	測定値下限非励磁	ヒステリシス 閉(点) → 開(点) 警報設定点 測定値	10 20																																																																				
名称	ラッチ動作 (注1)	励磁(0)/非励磁(1)	待機動作 無(0)/有(1)	警報種類																																																																					
未設定	— (注2)	— (注2)	— (注2)	00																																																																					
PV上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	01																																																																					
PV下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	02																																																																					
SP上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	03																																																																					
SP下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	04																																																																					
(15)	警報種類にアナログ入力警報を追加	AL1、AL2、AL3、AL4	PVにのみ可能です。				AL1～AL8	<p>アナログ入力端子ごとの警報設定が可能です</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ラッチ動作 (注1)</th> <th>励磁(0)/非励磁(1)</th> <th>待機動作 無(0)/有(1)</th> <th>警報種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アナログ入力PV上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力PV下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力RSP上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力RSP下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力AIN2上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力AIN2下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力AIN4上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>アナログ入力AIN4下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 0:ラッチ動作なし、1:ラッチ1、2:ラッチ2、3:ラッチ3、4:ラッチ4</p>				名称	ラッチ動作 (注1)	励磁(0)/非励磁(1)	待機動作 無(0)/有(1)	警報種類	アナログ入力PV上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	19	アナログ入力PV下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	20	アナログ入力RSP上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	21	アナログ入力RSP下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	22	アナログ入力AIN2上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	23	アナログ入力AIN2下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	24	アナログ入力AIN4上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	25	アナログ入力AIN4下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	26																	
			名称	ラッチ動作 (注1)	励磁(0)/非励磁(1)	待機動作 無(0)/有(1)		警報種類																																																																	
アナログ入力PV上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	19																																																																					
アナログ入力PV下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	20																																																																					
アナログ入力RSP上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	21																																																																					
アナログ入力RSP下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	22																																																																					
アナログ入力AIN2上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	23																																																																					
アナログ入力AIN2下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	24																																																																					
アナログ入力AIN4上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	25																																																																					
アナログ入力AIN4下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	26																																																																					

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																										
		記号	内容	記号	内容																									
(16)	警報種類に PV 変化率警報を追加	AL1、 AL2、 AL3、 AL4	機能なし	AL1 ~ AL8 VT1 ~ VT8	<p>PV 変化率警報を種類に追加</p> <p>上図の接点タイプ: 事象発生時、励磁 (工場出荷時値)</p>																									
(17)	警報種類に加熱出力 / 冷却出力警報を追加	AL1、 AL2、 AL3、 AL4	機能なし	AL1 ~ AL8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ラッチ動作 (注 1)</th> <th>励磁 (0)/ 非励磁 (1)</th> <th>待機動作 無 (0)/ 有 (1)</th> <th>警報種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御出力上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>制御出力下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>冷却側制御出力上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>冷却側制御出力下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 0: ラッチ動作なし、1: ラッチ 1、2: ラッチ 2、3: ラッチ 3、4: ラッチ 4</p>	名称	ラッチ動作 (注 1)	励磁 (0)/ 非励磁 (1)	待機動作 無 (0)/ 有 (1)	警報種類	制御出力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	15	制御出力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	16	冷却側制御出力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	17	冷却側制御出力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	18
名称	ラッチ動作 (注 1)	励磁 (0)/ 非励磁 (1)	待機動作 無 (0)/ 有 (1)	警報種類																										
制御出力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	15																										
制御出力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	16																										
冷却側制御出力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	17																										
冷却側制御出力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	18																										
(18)	警報種類にフィードバック入力警報を追加	AL1、 AL2、 AL3、 AL4	機能なし	AL1 ~ AL8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>ラッチ動作 (注 1)</th> <th>励磁 (0)/ 非 励磁 (1)</th> <th>待機動作 無 (0)/ 有 (1)</th> <th>警報種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィードバック入力上限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>フィードバック入力下限警報</td> <td>0/1/2/3/4</td> <td>0/1</td> <td>0/1</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注 1) 0: ラッチ動作なし、1: ラッチ 1、2: ラッチ 2、3: ラッチ 3、4: ラッチ 4</p>	名称	ラッチ動作 (注 1)	励磁 (0)/ 非 励磁 (1)	待機動作 無 (0)/ 有 (1)	警報種類	フィードバック入力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	27	フィードバック入力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	28										
名称	ラッチ動作 (注 1)	励磁 (0)/ 非 励磁 (1)	待機動作 無 (0)/ 有 (1)	警報種類																										
フィードバック入力上限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	27																										
フィードバック入力下限警報	0/1/2/3/4	0/1	0/1	28																										

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																	
		記号	内容	記号	内容																
(19)	警報ラッチ機能	AL1、AL2、AL3、AL4	機能なし	AL1～AL8	<p>警報ラッチ機能は、一度警報発生状態（警報出力オン）に入ると、その後警報ラッチ解除指令があるまで警報出力を維持し続ける（警報出力オンのまま）機能です。</p> <p>警報ラッチ機能には、以下の4種類の動作があります。</p> <p><b>ラッチ1</b> 警報ラッチ解除指令があった場合、警報出力を解除します。（警報出力オフ）ただし、警報発生状態のときに警報ラッチ解除指令があった場合、無視されます。</p> <p><b>ラッチ2</b> 警報ラッチ解除指令があった場合、常に警報出力を強制解除します。（警報出力オフ）</p> <p><b>ラッチ3</b> 警報ラッチ解除指令があった場合、または警報発生状態でなくなった場合、警報出力を解除します。（警報出力オフ）</p> <p><b>ラッチ4</b> 警報ラッチ解除指令があった場合、警報出力を解除します。（警報出力オフ）ただし、警報発生状態のときに警報ラッチ解除指令があった場合、サンプリング周期（制御周期）分警報出力を解除します。（警報出力オフ）</p>																
(20)	8点警報モード	AMD	<p>AMDを3～5に設定する必要があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AMD</td> <td>警報モード</td> <td>           運転状態により警報機能を動作させるか否かを設定できます。            0：常に動作            1：運転停止時動作しない            2：運転停止または手動運転時動作しない            3：警報8点使用+常に動作            4：警報8点使用+運転停止時動作しない            5：警報8点使用+運転停止、または、手動運転時動作しない         </td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	AMD	警報モード	運転状態により警報機能を動作させるか否かを設定できます。 0：常に動作 1：運転停止時動作しない 2：運転停止または手動運転時動作しない 3：警報8点使用+常に動作 4：警報8点使用+運転停止時動作しない 5：警報8点使用+運転停止、または、手動運転時動作しない	0	ALNO.	<p>各ループ8点まで設定可能 警報種類、警報ヒステリシス、警報（オン/オフ）ディレイタイム、警報設定値は、最大8つあります。</p> <p>使用しない警報パラメータを非表示および機能オフにすることができます。</p> <p>パラメータALNO.の初期値は、「4」です。</p> <p>例えばALNO.=4のとき、警報種類、PV変化率警報時間設定値、警報ヒステリシス、警報ディレイタイム、警報設定値はそれぞれ4つ表示されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALNO.</td> <td>警報数</td> <td>1～8</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	ALNO.	警報数	1～8	4
記号	名称	設定範囲	初期値																		
AMD	警報モード	運転状態により警報機能を動作させるか否かを設定できます。 0：常に動作 1：運転停止時動作しない 2：運転停止または手動運転時動作しない 3：警報8点使用+常に動作 4：警報8点使用+運転停止時動作しない 5：警報8点使用+運転停止、または、手動運転時動作しない	0																		
記号	名称	設定範囲	初期値																		
ALNO.	警報数	1～8	4																		
(21)	警報種類（タイマ機能）	AL1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AL1</td> <td>警報1種類（タイマ機能は警報1にのみ設定可能です）</td> <td>           タイマ機能を使用するときは必ず以下の21～24のいずれかに設定してください。            21：検出方向上向き，時間単位を時、分に設定する            22：検出方向下向き，時間単位を時、分に設定する            23：検出方向上向き，時間単位を分、秒に設定する            24：検出方向下向き，時間単位を分、秒に設定する         </td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	AL1	警報1種類（タイマ機能は警報1にのみ設定可能です）	タイマ機能を使用するときは必ず以下の21～24のいずれかに設定してください。 21：検出方向上向き，時間単位を時、分に設定する 22：検出方向下向き，時間単位を時、分に設定する 23：検出方向上向き，時間単位を分、秒に設定する 24：検出方向下向き，時間単位を分、秒に設定する	AL1～AL8	機能なし										
記号	名称	設定範囲																			
AL1	警報1種類（タイマ機能は警報1にのみ設定可能です）	タイマ機能を使用するときは必ず以下の21～24のいずれかに設定してください。 21：検出方向上向き，時間単位を時、分に設定する 22：検出方向下向き，時間単位を時、分に設定する 23：検出方向上向き，時間単位を分、秒に設定する 24：検出方向下向き，時間単位を分、秒に設定する																			

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																													
		記号	内容	記号	内容																												
(22)	警報の強制待機機能	AL1、AL2、AL3、AL4	機能なし	AL1～AL8	通信から強制待機可能																												
(23)	ヒーター断線警報	なし	機能なし	HB1、他	<p>専用パラメータあり。出力端子も専用端子。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HB1.S、HB2.S</td> <td>ヒーター断線警報機能選択</td> <td>0：ヒーター電流測定機能 1：ヒーター断線警報機能(加熱側) 2：冷却側ヒーター断線警報機能</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HB1、HB2</td> <td>ヒーター断線警報電流設定値</td> <td>OFF、0.1～300.0Arms</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>CT1.T、CT2.T</td> <td>CTのコイル巻き数比</td> <td>1～3300</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>HDN1、HDN2</td> <td>ヒーター断線警報オンディレイタイム</td> <td>0.00～99.59(分.秒)</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>HDF1、HDF2</td> <td>ヒーター断線警報オフディレイタイム</td> <td></td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>HB1.D、HB2.D</td> <td>ヒーター断線警報接点タイプ</td> <td>CLS：事象が発生したとき、接点を閉じる OPN：事象が発生したとき、接点を開く</td> <td>CLS</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	HB1.S、HB2.S	ヒーター断線警報機能選択	0：ヒーター電流測定機能 1：ヒーター断線警報機能(加熱側) 2：冷却側ヒーター断線警報機能	1	HB1、HB2	ヒーター断線警報電流設定値	OFF、0.1～300.0Arms	OFF	CT1.T、CT2.T	CTのコイル巻き数比	1～3300	800	HDN1、HDN2	ヒーター断線警報オンディレイタイム	0.00～99.59(分.秒)	0.00	HDF1、HDF2	ヒーター断線警報オフディレイタイム		0.00	HB1.D、HB2.D	ヒーター断線警報接点タイプ	CLS：事象が発生したとき、接点を閉じる OPN：事象が発生したとき、接点を開く	CLS
記号	名称	設定範囲	初期値																														
HB1.S、HB2.S	ヒーター断線警報機能選択	0：ヒーター電流測定機能 1：ヒーター断線警報機能(加熱側) 2：冷却側ヒーター断線警報機能	1																														
HB1、HB2	ヒーター断線警報電流設定値	OFF、0.1～300.0Arms	OFF																														
CT1.T、CT2.T	CTのコイル巻き数比	1～3300	800																														
HDN1、HDN2	ヒーター断線警報オンディレイタイム	0.00～99.59(分.秒)	0.00																														
HDF1、HDF2	ヒーター断線警報オフディレイタイム		0.00																														
HB1.D、HB2.D	ヒーター断線警報接点タイプ	CLS：事象が発生したとき、接点を閉じる OPN：事象が発生したとき、接点を開く	CLS																														
(24)	PID制御モード	MOD	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MOD</td> <td>PID制御モード</td> <td>0：追値制御(設定値変更時出力パンプ有り) 1：定値制御(設定値変更時出力パンプ無し) 圧力や流量制御する場合は、“定値制御”を選択してください。</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	MOD	PID制御モード	0：追値制御(設定値変更時出力パンプ有り) 1：定値制御(設定値変更時出力パンプ無し) 圧力や流量制御する場合は、“定値制御”を選択してください。	0	ALG	<p>パラメータ記号変更 MOD → ALG</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALG</td> <td>PID制御モード</td> <td>0：追値制御モード 1：定値制御モード</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	ALG	PID制御モード	0：追値制御モード 1：定値制御モード	0												
記号	名称	設定範囲	初期値																														
MOD	PID制御モード	0：追値制御(設定値変更時出力パンプ有り) 1：定値制御(設定値変更時出力パンプ無し) 圧力や流量制御する場合は、“定値制御”を選択してください。	0																														
記号	名称	設定範囲	初期値																														
ALG	PID制御モード	0：追値制御モード 1：定値制御モード	0																														
(25)	PID選択方式	ZON	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ZON</td> <td>ゾーンPID選択</td> <td>0(OFF)：目標設定値(SP)番号選択方式 1(ON)：ゾーンPID方式(測定値で選択) 2：ゾーンPID方式(目標設定値で選択) 3：PID番号選択方式 ※設定値2と3は、UT551のみ。</td> <td>0(OFF)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	ZON	ゾーンPID選択	0(OFF)：目標設定値(SP)番号選択方式 1(ON)：ゾーンPID方式(測定値で選択) 2：ゾーンPID方式(目標設定値で選択) 3：PID番号選択方式 ※設定値2と3は、UT551のみ。	0(OFF)	ZON	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ZON</td> <td>ゾーンPID選択</td> <td>0：SPグループ番号選択方式1 1：ゾーンPID選択方式(PV) 2：ゾーンPID選択方式(到達SP) 3：SPグループ番号選択方式2 4：ゾーンPID選択方式(SP)</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	ZON	ゾーンPID選択	0：SPグループ番号選択方式1 1：ゾーンPID選択方式(PV) 2：ゾーンPID選択方式(到達SP) 3：SPグループ番号選択方式2 4：ゾーンPID選択方式(SP)	0												
記号	名称	設定範囲	初期値																														
ZON	ゾーンPID選択	0(OFF)：目標設定値(SP)番号選択方式 1(ON)：ゾーンPID方式(測定値で選択) 2：ゾーンPID方式(目標設定値で選択) 3：PID番号選択方式 ※設定値2と3は、UT551のみ。	0(OFF)																														
記号	名称	設定範囲	初期値																														
ZON	ゾーンPID選択	0：SPグループ番号選択方式1 1：ゾーンPID選択方式(PV) 2：ゾーンPID選択方式(到達SP) 3：SPグループ番号選択方式2 4：ゾーンPID選択方式(SP)	0																														

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																			
		記 号	内 容	記 号	内 容																		
(26)	リスタートモードの動作条件	R.MD	約 2 秒以上の停電で下記動作		R.MD	約 5 秒以上の停電で下記動作																	
			警報動作	継続します (ただし、待機機能付き警報については、一度待機状態に戻ります)。		警報動作	継続しません。待機機能付き警報の場合は待機状態になります。 ラッチ付き警報の場合は初期化されます。																
			設定パラメータ	設定されているパラメータは保持されます。		設定パラメータ	各パラメータの設定内容は保持されます。																
			オートチューニング	オートチューニングは解除されます。		オートチューニング	オートチューニング解除されます。																
			制御動作	セットアップパラメータ "R.MD" (リスタートモード) の設定により異なります。		制御動作	リスタートモードパラメータ (R.MD) の設定にて指定可能。																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>R.MD 設定値</th> <th>停電復帰後の制御動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CONT</td> <td>停電前の動作を継続 (工場出荷時) ただし、位置比例形でバルブ調整 (V.MD) が推測形の場合は、0% から動作します</td> </tr> <tr> <td>MAN</td> <td>制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。</td> </tr> <tr> <td>AUTO</td> <td>制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、自動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。</td> </tr> </tbody> </table>			R.MD 設定値	停電復帰後の制御動作	CONT	停電前の動作を継続 (工場出荷時) ただし、位置比例形でバルブ調整 (V.MD) が推測形の場合は、0% から動作します	MAN	制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。	AUTO	制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、自動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R.MD 設定値</th> <th>停電復帰後の制御動作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CONT</td> <td>停電前の制御出力を継続 (工場出荷時)</td> </tr> <tr> <td>MAN (*)</td> <td>制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで動作します。</td> </tr> <tr> <td>AUTO (*)</td> <td>制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) から自動モードで制御演算を行います。</td> </tr> </tbody> </table>		R.MD 設定値	停電復帰後の制御動作	CONT	停電前の制御出力を継続 (工場出荷時)	MAN (*)	制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで動作します。	AUTO (*)	制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) から自動モードで制御演算を行います。
			R.MD 設定値	停電復帰後の制御動作																			
			CONT	停電前の動作を継続 (工場出荷時) ただし、位置比例形でバルブ調整 (V.MD) が推測形の場合は、0% から動作します																			
			MAN	制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。																			
			AUTO	制御出力としてプリセット出力値 (PO) を出力し、自動モードで停電前の動作を継続 ただし、位置比例形でフィードバック制御のとき、復電時のフィードバック入力の状態から動作します。 推測形制御のとき、0% から動作します。																			
R.MD 設定値	停電復帰後の制御動作																						
CONT	停電前の制御出力を継続 (工場出荷時)																						
MAN (*)	制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) を出力し、手動モードで動作します。																						
AUTO (*)	制御出力として使用している PID グループのプリセット出力値 (PO) から自動モードで制御演算を行います。																						
		※加熱冷却制御時は、制御演算出力 50% から開始します。																					
		タイマ、カウンタ (ラダープログラム)		初期化されます。																			

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)																											
		記号	内容			記号	内容																										
(27)	マニュアルプリセット入力	M.MD MPO	<p>1点設定可能です。(UT551のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M.MD</td> <td>手動運転時プリセット出力値選択</td> <td>自動運転から手動運転に切り替えるときに、手動運転での出力初期値を選択します。 0：切替時の自動運転出力値（パンプレス） 1：手動運転用プリセット出力値（MPO）</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>MPO</td> <td>手動運転用プリセット出力値</td> <td>-5.0～105.0% 但し、出力値は出力リミット上限値（OH）と出力リミット下限値（OL）に制限されます。</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	M.MD	手動運転時プリセット出力値選択	自動運転から手動運転に切り替えるときに、手動運転での出力初期値を選択します。 0：切替時の自動運転出力値（パンプレス） 1：手動運転用プリセット出力値（MPO）	0	MPO	手動運転用プリセット出力値	-5.0～105.0% 但し、出力値は出力リミット上限値（OH）と出力リミット下限値（OL）に制限されます。	0.0%	M.PON MPO1～ MPO5	<p>5点設定可能です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M.PON</td> <td>マニュアルプリセット出力番号選択</td> <td>OFF：パンプレス（自動運転時の制御出力値を保持） 1：マニュアルプリセット出力1を使用（出力パンプ） 2：マニュアルプリセット出力2を使用（出力パンプ） 3：マニュアルプリセット出力3を使用（出力パンプ） 4：マニュアルプリセット出力4を使用（出力パンプ） 5：マニュアルプリセット出力5を使用（出力パンプ）</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>MPO1～ MPO5</td> <td>マニュアルプリセット出力1～5</td> <td>-5.0～105.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	M.PON	マニュアルプリセット出力番号選択	OFF：パンプレス（自動運転時の制御出力値を保持） 1：マニュアルプリセット出力1を使用（出力パンプ） 2：マニュアルプリセット出力2を使用（出力パンプ） 3：マニュアルプリセット出力3を使用（出力パンプ） 4：マニュアルプリセット出力4を使用（出力パンプ） 5：マニュアルプリセット出力5を使用（出力パンプ）	OFF	MPO1～ MPO5	マニュアルプリセット出力1～5	-5.0～105.0%	0.0%
記号	名称	設定範囲	初期値																														
M.MD	手動運転時プリセット出力値選択	自動運転から手動運転に切り替えるときに、手動運転での出力初期値を選択します。 0：切替時の自動運転出力値（パンプレス） 1：手動運転用プリセット出力値（MPO）	0																														
MPO	手動運転用プリセット出力値	-5.0～105.0% 但し、出力値は出力リミット上限値（OH）と出力リミット下限値（OL）に制限されます。	0.0%																														
記号	名称	設定範囲	初期値																														
M.PON	マニュアルプリセット出力番号選択	OFF：パンプレス（自動運転時の制御出力値を保持） 1：マニュアルプリセット出力1を使用（出力パンプ） 2：マニュアルプリセット出力2を使用（出力パンプ） 3：マニュアルプリセット出力3を使用（出力パンプ） 4：マニュアルプリセット出力4を使用（出力パンプ） 5：マニュアルプリセット出力5を使用（出力パンプ）	OFF																														
MPO1～ MPO5	マニュアルプリセット出力1～5	-5.0～105.0%	0.0%																														
(28)	開平演算のローカット機能	LC1、 LC3	<p>ローカット点以下は傾き1のみ</p> 			A.SR	<p>ローカット点以下の動作設定が可能です。</p> 																										

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)				UTAdvanced (UT55A/UT52A)												
		記号	内容			記号	内容											
(29)	SP切替時のDI登録の初期値	SP.0～3	工場出荷時にSP切替がDI3～DI6に割り付けられています。				SP.B0～ SP.B3	工場出荷時に拡張端子への割り付けはありません。UT55□-03の置き換えの場合は必ず割り付け設定が必要となります。										
			記号	名称	設定範囲	初期値												
			SP.0	目標設定値番号指定時のビット0 (ステータス切替)	設定範囲は利用する接点入力端子のDI番号に対応する“1リレー”番号 (+5000) です。DI番号と“1リレー”番号 (+5000) の対応は次の通りです。“1リレー”番号 (+5000) が設定範囲です。	DI3: 5163						5163						
			SP.1	目標設定値番号指定時のビット1 (ステータス切替)	DI4: 5164	5164												
			SP.2	目標設定値番号指定時のビット2 (ステータス切替)	DI5: 5165 DI6: 5166	5165												
SP.3	目標設定値番号指定時のビット3 (ステータス切替)	右記の初期値のように利用する機能のパラメータ (A/M など) の値に“1リレー”番号 (+5000) を登録し、機能を実行する端子を特定してください。	5166															
(30)	DI機能割り付け	なし	機能なし			AT	オートチューニング起動/停止切替 (AT) あり オートチューニング起動/停止を接点入力で切り替えることができます。現在指定されているPIDグループに対してオートチューニングを実行します。立ち上がりエッジおよび立ち下がりエッジによる切替です。											
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF → ON</td> <td>オートチューニングを起動</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ON → OFF</td> <td>オートチューニングを停止</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				接点状態	動作	備考	OFF → ON	オートチューニングを起動	—	ON → OFF	オートチューニングを停止	—
接点状態	動作	備考																
OFF → ON	オートチューニングを起動	—																
ON → OFF	オートチューニングを停止	—																
(31)	DI機能割り付け	なし	機能なし (制御モード固定)			TRK	出力トラッキング切替 (TRK) あり 出力トラッキングを接点入力で切り替えることができます。ステータス切替です。											
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>出力トラッキングをオン</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>出力トラッキングをオフ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				接点状態	動作	備考	ON	出力トラッキングをオン	—	OFF	出力トラッキングをオフ	—
接点状態	動作	備考																
ON	出力トラッキングをオン	—																
OFF	出力トラッキングをオフ	—																
(32)	DI機能割り付け	なし	機能なし (制御モード固定)			SW	2入力切替 (SW) あり 2入力を接点入力で切り替えることができます。ステータス切替です。											
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>入力2に切替</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>入力1に切替</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				接点状態	動作	備考	ON	入力2に切替	—	OFF	入力1に切替	—
接点状態	動作	備考																
ON	入力2に切替	—																
OFF	入力1に切替	—																

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)										
		記 号	内 容	記 号	内 容									
(33)	DI 機能割り付け	なし	機能なし (制御モード固定)	PVHD	<p>PV 保持 (PVHD) あり PV 保持を接点入力で行うことができます。ステータス切り替えです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>手動へ切替、PV を保持</td> <td>キーまたは通信による自動 / 手動切替はできません。PV 保持状態です。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>自動へ切替</td> <td>キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。</td> </tr> </tbody> </table>	接点状態	動作	備考	ON	手動へ切替、PV を保持	キーまたは通信による自動 / 手動切替はできません。PV 保持状態です。	OFF	自動へ切替	キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。
接点状態	動作	備考												
ON	手動へ切替、PV を保持	キーまたは通信による自動 / 手動切替はできません。PV 保持状態です。												
OFF	自動へ切替	キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。												
(34)	DI 機能割り付け	なし	機能なし (制御モード固定)	CTOA	<p>カスケード→自動切替 (CTOA) あり 1 次側の調節計が FAIL となった場合、カスケードから自動に切り替えます。ステータス切り替えです。 カスケード→自動切替は、制御モード (CTLM) がカスケード 2 次側制御のときに設定可能です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>動作しません。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>運転モードがカスケードのとき、自動モードへ移行します</td> <td>キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。</td> </tr> </tbody> </table>	接点状態	動作	備考	ON	動作しません。	—	OFF	運転モードがカスケードのとき、自動モードへ移行します	キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。
接点状態	動作	備考												
ON	動作しません。	—												
OFF	運転モードがカスケードのとき、自動モードへ移行します	キーまたは通信による自動 / 手動切替は可能です。												
(35)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	LAT	<p>ラッチ解除 (LAT) あり ラッチを接点入力で解除することができます。立ち上がりエッジによる切り替えです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF → ON</td> <td>ラッチを解除</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ON → OFF</td> <td>現在の運転状態</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>ラッチ解除は、すべてのラッチされている接点 (警報) 出力を解除します。</p>	接点状態	動作	備考	OFF → ON	ラッチを解除	—	ON → OFF	現在の運転状態	—
接点状態	動作	備考												
OFF → ON	ラッチを解除	—												
ON → OFF	現在の運転状態	—												
(36)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	LCD	<p>LCD バックライトオン/オフ切替 (LCD) あり LCD のオン/オフを接点入力で切り替えることができます。立ち上がりエッジ、および立ち下がりエッジによる切り替えです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF → ON</td> <td>LCD バックライトをオフ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ON → OFF</td> <td>LCD バックライトをオン</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	接点状態	動作	備考	OFF → ON	LCD バックライトをオフ	—	ON → OFF	LCD バックライトをオン	—
接点状態	動作	備考												
OFF → ON	LCD バックライトをオフ	—												
ON → OFF	LCD バックライトをオン	—												

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																																								
		記 号	内 容	記 号	内 容																																							
(37)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	MG1 ~ MG4	<p>メッセージ割り込み表示 (MG1 ~ MG4) あり LL50A パラメータ設定ソフトウェアで設定したメッセージを接点入力により PV 表示部に割り込み表示させることができます。メッセージは、半角英数字 20 文字以内で、最大 4 つまで登録させることができます。立ち上がりエッジによる切り替えです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF → ON</td> <td>メッセージを割り込み表示</td> <td>DISPLAY キーを押すと、メッセージは消えます。</td> </tr> <tr> <td>ON → OFF</td> <td>現在の PV を表示</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	接点状態	動作	備考	OFF → ON	メッセージを割り込み表示	DISPLAY キーを押すと、メッセージは消えます。	ON → OFF	現在の PV を表示	—																														
接点状態	動作	備考																																										
OFF → ON	メッセージを割り込み表示	DISPLAY キーを押すと、メッセージは消えます。																																										
ON → OFF	現在の PV を表示	—																																										
(38)	DI 機能割り付け	PN.0 ~ PN.3	<p>機能あり (UT551 のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PN.0</td> <td>PID 指定時のビット 0 (ステータス切替)</td> <td>UT551 のみ</td> <td>0 (指定なし)</td> </tr> <tr> <td>PN.1</td> <td>PID 指定時のビット 1 (ステータス切替)</td> <td></td> <td>0 (指定なし)</td> </tr> <tr> <td>PN.2</td> <td>PID 指定時のビット 2 (ステータス切替)</td> <td></td> <td>0 (指定なし)</td> </tr> <tr> <td>PN.3</td> <td>PID 指定時のビット 3 (ステータス切替)</td> <td></td> <td>0 (指定なし)</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	PN.0	PID 指定時のビット 0 (ステータス切替)	UT551 のみ	0 (指定なし)	PN.1	PID 指定時のビット 1 (ステータス切替)		0 (指定なし)	PN.2	PID 指定時のビット 2 (ステータス切替)		0 (指定なし)	PN.3	PID 指定時のビット 3 (ステータス切替)		0 (指定なし)	<p>PN.B0 ~ PN.B3</p> <p>PID 番号切替あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PN.B0</td> <td>PID 番号指定時のビット 0</td> <td>接点入力の i リレー番号を設定します。</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>PN.B1</td> <td>PID 番号指定時のビット 1</td> <td>未設定にする場合は OFF を設定します。</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>PN.B2</td> <td>PID 番号指定時のビット 2</td> <td></td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>PN.B3</td> <td>PID 番号指定時のビット 3</td> <td></td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	PN.B0	PID 番号指定時のビット 0	接点入力の i リレー番号を設定します。	OFF	PN.B1	PID 番号指定時のビット 1	未設定にする場合は OFF を設定します。	OFF	PN.B2	PID 番号指定時のビット 2		OFF	PN.B3	PID 番号指定時のビット 3		OFF
記号	名称	設定範囲	初期値																																									
PN.0	PID 指定時のビット 0 (ステータス切替)	UT551 のみ	0 (指定なし)																																									
PN.1	PID 指定時のビット 1 (ステータス切替)		0 (指定なし)																																									
PN.2	PID 指定時のビット 2 (ステータス切替)		0 (指定なし)																																									
PN.3	PID 指定時のビット 3 (ステータス切替)		0 (指定なし)																																									
記号	名称	設定範囲	初期値																																									
PN.B0	PID 番号指定時のビット 0	接点入力の i リレー番号を設定します。	OFF																																									
PN.B1	PID 番号指定時のビット 1	未設定にする場合は OFF を設定します。	OFF																																									
PN.B2	PID 番号指定時のビット 2		OFF																																									
PN.B3	PID 番号指定時のビット 3		OFF																																									
(39)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	MP.B0 ~ MP.B2	<p>マニュアルプリセット出力番号切替あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MP.B0</td> <td>マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 0</td> <td>接点入力の i リレー番号を設定します。</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>MP.B1</td> <td>マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 1</td> <td>未設定にする場合は OFF を設定します。</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>MP.B2</td> <td>マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 2</td> <td></td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	MP.B0	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 0	接点入力の i リレー番号を設定します。	OFF	MP.B1	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 1	未設定にする場合は OFF を設定します。	OFF	MP.B2	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 2		OFF																							
記号	名称	設定範囲	初期値																																									
MP.B0	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 0	接点入力の i リレー番号を設定します。	OFF																																									
MP.B1	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 1	未設定にする場合は OFF を設定します。	OFF																																									
MP.B2	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット 2		OFF																																									
(40)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	PVRW	<p>表示色 (赤 / 白 = PVRW) 切替あり PV の色を接点入力で切り替えることができます。ステータス切替です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接点状態</th> <th>動作</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>赤色</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>白色</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>パラメータ PCMD=10 に設定してください。</p>	接点状態	動作	備考	ON	赤色	—	OFF	白色	—																														
接点状態	動作	備考																																										
ON	赤色	—																																										
OFF	白色	—																																										
(41)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	SP.BC	<p>SP 番号指定時のビット切替方式選択</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SP.BC</td> <td>SP 番号指定時のビット切替方法選択</td> <td>0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	SP.BC	SP 番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																															
記号	名称	設定範囲	初期値																																									
SP.BC	SP 番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																																									

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)																																											
		記号	内容	記号	内容																																										
(42)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	PN.BC	PID 番号指定時のビット切替方式選択 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PN.BC</td> <td>PID 番号指定時のビット切替方法選択</td> <td>0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	PN.BC	PID 番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																																
記号	名称	設定範囲	初期値																																												
PN.BC	PID 番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																																												
(43)	DI 機能割り付け	なし	機能なし	MP.BC	マニュアルプリセット出力切替方式選択 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MP.BC</td> <td>マニュアルプリセット出力番号指定時のビット切替方法選択</td> <td>0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>			記号	名称	設定範囲	初期値	MP.BC	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																																
記号	名称	設定範囲	初期値																																												
MP.BC	マニュアルプリセット出力番号指定時のビット切替方法選択	0: ステータス切替 1 1: ステータス切替 2	0																																												
(44)	通信パラメータ ボーレート (BPS) 初期値と設定範囲	BPS	9600 (初期値) 600 ~ 9600 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>600bps</td></tr> <tr><td>1</td><td>1200bps</td></tr> <tr><td>2</td><td>2400bps</td></tr> <tr><td>3</td><td>4800bps</td></tr> <tr><td>4</td><td>9600bps</td></tr> </tbody> </table>	設定値	内容	0	600bps	1	1200bps	2	2400bps	3	4800bps	4	9600bps	BPS	19200 (初期値) 600 ~ 38400 (形式により最大 19200) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>600</td><td>600bps</td></tr> <tr><td>1200</td><td>1200bps</td></tr> <tr><td>2400</td><td>2400bps</td></tr> <tr><td>4800</td><td>4800bps</td></tr> <tr><td>9600</td><td>9600bps</td></tr> <tr><td>19200</td><td>19.2kbps</td></tr> <tr><td>38400</td><td>38.4kbps</td></tr> </tbody> </table>	設定値	内容	600	600bps	1200	1200bps	2400	2400bps	4800	4800bps	9600	9600bps	19200	19.2kbps	38400	38.4kbps														
設定値	内容																																														
0	600bps																																														
1	1200bps																																														
2	2400bps																																														
3	4800bps																																														
4	9600bps																																														
設定値	内容																																														
600	600bps																																														
1200	1200bps																																														
2400	2400bps																																														
4800	4800bps																																														
9600	9600bps																																														
19200	19.2kbps																																														
38400	38.4kbps																																														
(45)	通信パラメータ プロトコル選択 (PSL) 初期値と設定種類追加	PSL	パソコンリンク通信 (初期値) <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>パソコンリンク通信</td></tr> <tr><td>1</td><td>パソコンリンク通信 (チェックサム付き)</td></tr> <tr><td>2</td><td>ラダー通信</td></tr> <tr><td>3</td><td>協調親局</td></tr> <tr><td>4</td><td>協調子局</td></tr> <tr><td>7</td><td>Modbus (ASCII)</td></tr> <tr><td>8</td><td>Modbus (RTU)</td></tr> <tr><td>10</td><td>協調子局 (ループ 1 モード)</td></tr> <tr><td>11</td><td>協調子局 (ループ 2 モード)</td></tr> </tbody> </table>	設定値	内容	0	パソコンリンク通信	1	パソコンリンク通信 (チェックサム付き)	2	ラダー通信	3	協調親局	4	協調子局	7	Modbus (ASCII)	8	Modbus (RTU)	10	協調子局 (ループ 1 モード)	11	協調子局 (ループ 2 モード)	PSL	Modbus (RTU) (初期値) 機器間通信を追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>PCL</td><td>パソコンリンク通信</td></tr> <tr><td>PCLSM</td><td>パソコンリンク通信 (チェックサム付き)</td></tr> <tr><td>LADR</td><td>ラダー通信</td></tr> <tr><td>CO-M</td><td>協調親局</td></tr> <tr><td>CO-S</td><td>協調子局</td></tr> <tr><td>MBASC</td><td>Modbus (ASCII)</td></tr> <tr><td>MBRTU</td><td>Modbus (RTU)</td></tr> <tr><td>CO-S1</td><td>協調子局 (ループ 1 モード)</td></tr> <tr><td>CO-S2</td><td>協調子局 (ループ 2 モード)</td></tr> <tr><td>P-P</td><td>機器間通信</td></tr> </tbody> </table>	設定値	内容	PCL	パソコンリンク通信	PCLSM	パソコンリンク通信 (チェックサム付き)	LADR	ラダー通信	CO-M	協調親局	CO-S	協調子局	MBASC	Modbus (ASCII)	MBRTU	Modbus (RTU)	CO-S1	協調子局 (ループ 1 モード)	CO-S2	協調子局 (ループ 2 モード)	P-P	機器間通信
設定値	内容																																														
0	パソコンリンク通信																																														
1	パソコンリンク通信 (チェックサム付き)																																														
2	ラダー通信																																														
3	協調親局																																														
4	協調子局																																														
7	Modbus (ASCII)																																														
8	Modbus (RTU)																																														
10	協調子局 (ループ 1 モード)																																														
11	協調子局 (ループ 2 モード)																																														
設定値	内容																																														
PCL	パソコンリンク通信																																														
PCLSM	パソコンリンク通信 (チェックサム付き)																																														
LADR	ラダー通信																																														
CO-M	協調親局																																														
CO-S	協調子局																																														
MBASC	Modbus (ASCII)																																														
MBRTU	Modbus (RTU)																																														
CO-S1	協調子局 (ループ 1 モード)																																														
CO-S2	協調子局 (ループ 2 モード)																																														
P-P	機器間通信																																														
(46)	入力サンプリング周期設定範囲	SMP	4 種類 (50/100/200/500ms) <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SMP</td> <td>測定入力サンプリング周期設定</td> <td>100ms、200ms、500ms 測定入力サンプリング周期を変更すると、調節計が再起動されますが、他のパラメータの設定値には、影響ありません。</td> <td>200ms</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	SMP	測定入力サンプリング周期設定	100ms、200ms、500ms 測定入力サンプリング周期を変更すると、調節計が再起動されますが、他のパラメータの設定値には、影響ありません。	200ms	SMP	3 種類 (50/100/200ms) <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SMP</td> <td>入力サンプリング周期 (制御周期)</td> <td>50、100、200ms</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	SMP	入力サンプリング周期 (制御周期)	50、100、200ms	100																										
記号	名称	設定範囲	初期値																																												
SMP	測定入力サンプリング周期設定	100ms、200ms、500ms 測定入力サンプリング周期を変更すると、調節計が再起動されますが、他のパラメータの設定値には、影響ありません。	200ms																																												
記号	名称	設定範囲	初期値																																												
SMP	入力サンプリング周期 (制御周期)	50、100、200ms	100																																												

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)													
		記号	内容	記号	内容												
(47)	ファンクションキー機能	なし	機能なし	F1、F2、FN	<p>F1、F2、FN (UT55A)、FN (UT52A) キーの割り付け機能が追加されました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F1 ~ F2</td> <td>ユーザファンクションキー 1、2 動作設定</td> <td>           OFF：未設定            A/M：自動 / 手動切替            C/A/M：カスケード / 自動 / 手動切替            R/L1：リモート / ローカル切替            R/L2：第 2 ループリモート / ローカル切替            S/R：運転停止 / 運転開始切替            CAS：カスケードへの切替            AUTO：自動への切替            MAN：手動への切替            REM1：リモートへの切替         </td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>Fn</td> <td>ユーザファンクションキー n 動作設定</td> <td>           LCL1：ローカルへの切替            REM2：第 2 ループリモートへの切替            LCL2：第 2 ループローカルへの切替            STOP：運転停止への切替            RUN：運転開始への切替            AT：オートチューニング実行            LTUP：LCD 輝度増加            LTDN：LCD 輝度減少            BRI：LCD 輝度調整            LCD：LCD バックライトオン / オフ切替            LAT：ラッチ解除            PID：PID チューニング切替         </td> <td>PID</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	F1 ~ F2	ユーザファンクションキー 1、2 動作設定	OFF：未設定 A/M：自動 / 手動切替 C/A/M：カスケード / 自動 / 手動切替 R/L1：リモート / ローカル切替 R/L2：第 2 ループリモート / ローカル切替 S/R：運転停止 / 運転開始切替 CAS：カスケードへの切替 AUTO：自動への切替 MAN：手動への切替 REM1：リモートへの切替	OFF	Fn	ユーザファンクションキー n 動作設定	LCL1：ローカルへの切替 REM2：第 2 ループリモートへの切替 LCL2：第 2 ループローカルへの切替 STOP：運転停止への切替 RUN：運転開始への切替 AT：オートチューニング実行 LTUP：LCD 輝度増加 LTDN：LCD 輝度減少 BRI：LCD 輝度調整 LCD：LCD バックライトオン / オフ切替 LAT：ラッチ解除 PID：PID チューニング切替	PID
記号	名称	設定範囲	初期値														
F1 ~ F2	ユーザファンクションキー 1、2 動作設定	OFF：未設定 A/M：自動 / 手動切替 C/A/M：カスケード / 自動 / 手動切替 R/L1：リモート / ローカル切替 R/L2：第 2 ループリモート / ローカル切替 S/R：運転停止 / 運転開始切替 CAS：カスケードへの切替 AUTO：自動への切替 MAN：手動への切替 REM1：リモートへの切替	OFF														
Fn	ユーザファンクションキー n 動作設定	LCL1：ローカルへの切替 REM2：第 2 ループリモートへの切替 LCL2：第 2 ループローカルへの切替 STOP：運転停止への切替 RUN：運転開始への切替 AT：オートチューニング実行 LTUP：LCD 輝度増加 LTDN：LCD 輝度減少 BRI：LCD 輝度調整 LCD：LCD バックライトオン / オフ切替 LAT：ラッチ解除 PID：PID チューニング切替	PID														

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)				
		記号	内容	記号	内容			
(48)	バーグラフ表示機能	なし	機能なし	BAR1、 BAR2	記号	名称	設定範囲	初期値
					BAR1	上段バー表示内容登録	0：表示なし 1：OUT、加熱側 OUT、位置 比例時は内部演算値 2：冷却側 OUT 3：PV 4：SP 5：偏差 6：第2ループ OUT、第2ループ 加熱側 OUT 7：第2ループ冷却側 OUT 8：第2ループ PV 9：第2ループ SP 10：第2ループ偏差	5
					BAR2	下段バー表示内容登録	11～16：表示なし 17：フィードバック入力値(バルブ開度) 18：PV 端子アナログ入力値 19：RSP 端子アナログ入力値 20：AIN2 端子アナログ入力値 21：AIN4 端子アナログ入力値	1
(49)	表示画面の一部の表示・非表示機能	なし	機能なし	PV.D、 SP.D、 STS.D	表示部を3エリアに分割して非表示とすることが可能 OFF：非表示 ON：表示（初期値）			
(50)	ガイド表示のスクロールスピード	なし	機能なし	SPD	4（初期値） 設定範囲：1～8			
(51)	ガイド表示の表示・非表示	なし	機能なし	GUID	OFF：非表示 ON：表示（初期値）			
(52)	表示の省エネモード	なし	機能なし	ECO	OFF(初期値)			
					設定値	内容		
					OFF	オフ		
					1	省エネモードオン (PV表示部以外消灯)		
					2	省エネモードオン (全表示画面消灯)		
3	輝度 10% (表示画面全体)							

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)									
		記号	内容	記号	内容								
(53)	運転画面への自動復帰	なし	自動復帰しない	OP.JP	<p>初期値では5分間操作がないと運転画面に自動復帰します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OP.JP</td> <td>運転画面への自動復帰設定</td> <td>5分間キー操作がない場合、運転画面に自動的に戻ります。 OFF：自動復帰しない ON：自動復帰する</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	OP.JP	運転画面への自動復帰設定	5分間キー操作がない場合、運転画面に自動的に戻ります。 OFF：自動復帰しない ON：自動復帰する	ON
記号	名称	設定範囲	初期値										
OP.JP	運転画面への自動復帰設定	5分間キー操作がない場合、運転画面に自動的に戻ります。 OFF：自動復帰しない ON：自動復帰する	ON										
(54)	PV表示 (最下位桁の表示 / 非表示)	なし	機能なし	MLSD	あり。(最下位の桁を表示しないように設定可能)								
(55)	セレクトパラメータ	なし	機能なし	CS10 ~ CS19	<p>CSメニューに最大10個のパラメータを登録可能です。</p> <p>通常の運転画面</p> <p>セレクトパラメータが登録されていない場合は、CSメニューは表示されません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CS10 ~ CS19</td> <td>セレクトパラメータ 10 ~ 19 登録</td> <td>OFF: 登録なし D レジスタ番号 (2301 ~ 5000)</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	CS10 ~ CS19	セレクトパラメータ 10 ~ 19 登録	OFF: 登録なし D レジスタ番号 (2301 ~ 5000)	OFF
記号	名称	設定範囲	初期値										
CS10 ~ CS19	セレクトパラメータ 10 ~ 19 登録	OFF: 登録なし D レジスタ番号 (2301 ~ 5000)	OFF										

No.	項目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)									
		記号	内容	記号	内容								
(56)	使用 PIDNo の表示機能	なし	<p>初期状態で表示画面あり。</p> <p>初期状態で表示画面あり。</p> <p>位置比例形の調節計のOUT表示画面に表示される数値は、バルブの開度(0~100%)を示します。</p> <p>電源オン</p> <p>キー</p> <p>SP表示画面 (目標設定値を変更できます)</p> <p>OUT表示画面 (制御出力値を変更できます)</p> <p>PID番号表示画面 (監視のみ)</p>	U.PID	<p>初期状態で表示画面なし。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>U.PID</td> <td>PID 番号表示画面ロック</td> <td>OFF : 表示 ON : 非表示</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table> <p>SP表示画面 (SP変更可)</p> <p>OUT表示画面 (手動運転時、OUT変更可)</p> <p>PID番号表示画面 (表示のみ) (工場出荷時表示しません)</p>	記号	名称	設定範囲	初期値	U.PID	PID 番号表示画面ロック	OFF : 表示 ON : 非表示	ON
記号	名称	設定範囲	初期値										
U.PID	PID 番号表示画面ロック	OFF : 表示 ON : 非表示	ON										
(57)	位置比例制御時のMV表示	なし	機能なし	U.MV	<p>機能追加。</p> <p>OFF : 表示</p> <p>ON : 非表示 (初期値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>U.MV</td> <td>位置比例演算出力値表示画面ロック</td> <td>OFF : 表示 ON : 非表示</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	U.MV	位置比例演算出力値表示画面ロック	OFF : 表示 ON : 非表示	ON
記号	名称	設定範囲	初期値										
U.MV	位置比例演算出力値表示画面ロック	OFF : 表示 ON : 非表示	ON										
(58)	通信書き込み許可 / 禁止の選択機能	なし	機能なし	COM.W	<p>機能追加。</p> <p>通信書き込みの許可 (初期値)</p> <p>許可 / 禁止を選択できる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>COM.W</td> <td>通信書き込み禁止 / 許可</td> <td>OFF : 許可 ON : 禁止</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	COM.W	通信書き込み禁止 / 許可	OFF : 許可 ON : 禁止	OFF
記号	名称	設定範囲	初期値										
COM.W	通信書き込み禁止 / 許可	OFF : 許可 ON : 禁止	OFF										

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551/UT520)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)									
		記 号	内 容	記 号	内 容								
(59)	入力エラープリセット出力機能	なし	機能なし	EPO	機能追加。 入力エラープリセット出力は、以下の条件のとき制御出力0%、100%または入力プリセット出力値を選択して出力できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運転モードが AUTO (自動) または CAS (カスケード)、かつ RUN (運転開始) で運転中に、入力バーンアウトが発生したとき</li> <li>・ 運転モードが AUTO (自動) または CAS (カスケード)、かつ RUN (運転開始) で運転中に、A/D 変換回路に異常が発生したとき</li> </ul> ただし、運転モードが MAN (手動) かつ RUN (運転開始) のときに入力バーンアウトが発生した場合は、手動出力値を出力します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EPO</td> <td>入力エラープリセット出力</td> <td>0：プリセット出力 1：0% 出力 2：100% 出力</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	記号	名称	設定範囲	初期値	EPO	入力エラープリセット出力	0：プリセット出力 1：0% 出力 2：100% 出力	0
記号	名称	設定範囲	初期値										
EPO	入力エラープリセット出力	0：プリセット出力 1：0% 出力 2：100% 出力	0										
(60)	電源周波数	なし	機能なし	FREQ	機能追加。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源周波数</td> <td>AUTO 60：60Hz 50：50Hz</td> <td>AUTO</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲	初期値	電源周波数	AUTO 60：60Hz 50：50Hz	AUTO		
名称	設定範囲	初期値											
電源周波数	AUTO 60：60Hz 50：50Hz	AUTO											
(61)	クイック設定機能の再設定	なし	機能なし	QSM	機能追加。 クイックモードを再度起動させる際に、ON を設定。 その後は OFF に自動で戻ります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クイック設定モード</td> <td>OFF：クイック設定モードオフ ON：クイック設定モードオン</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲	クイック設定モード	OFF：クイック設定モードオフ ON：クイック設定モードオン				
名称	設定範囲												
クイック設定モード	OFF：クイック設定モードオフ ON：クイック設定モードオン												
(62)	ガイド表示言語の切替	なし	機能なし	LANG	機能追加。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設定範囲</th> <th>初期値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガイド言語表示</td> <td>ENG：英語 FRA：フランス語 GER：ドイツ語 SPA：スペイン語</td> <td>ENG</td> </tr> </tbody> </table>	名称	設定範囲	初期値	ガイド言語表示	ENG：英語 FRA：フランス語 GER：ドイツ語 SPA：スペイン語	ENG		
名称	設定範囲	初期値											
ガイド言語表示	ENG：英語 FRA：フランス語 GER：ドイツ語 SPA：スペイン語	ENG											
(63)	ユーザで設定したパラメータの保存・初期化機能	なし	機能なし	U.DEF	機能追加。 パラメータ設定値をユーザで設定したパラメータ値に戻します。 パスワードは 12345 (固定) で、設定にはパラメータ設定ソフトウェア LL50A が必要です。								
(64)	パラメータ初期化機能	なし	機能なし	F.DEF	機能追加。 パラメータ設定値を工場出荷時値に戻します。 パスワードは -12345 です。								
(65)	パラメータ表示レベル	なし	機能なし	LEVL	機能追加。 パラメータ表示レベルのことで (EASY、STD、PRO) があります。								

## 2.3 機能

No.	項 目	GREEN (UT550/UT551)		UTAdvanced (UT55A/UT52A)	
		記 号	内 容	記 号	内 容
(1)	位置比例出力	なし	位置比例形で出力 0%もしくは 100%時 FB = OUT で接点出力 OFF になります。	なし	位置比例形で出力 0%もしくは 100%時接点出力は ON のまま保持します。
(2)	位置比例出力	なし	バルブ位置推測型で使用の場合、電源 ON 時に一旦出力を 0%にします。	なし	電源 ON 時出力は継続されます。



---

# 機能説明書 改訂情報

資料名称 : デジタル指示調節計リプレースガイド (仕様編)

資料番号 : TI 05A03A01-05JA

2013年4月 / 初版

新規発行

---

■ 著作者 横河電機株式会社  
■ 発行者 横河電機株式会社  
〒 180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

---